

2022年12月期 第2四半期 決算説明資料

2022年8月5日
サイバーコム株式会社
東証スタンダード<3852>

1. 決算概要 P 3～4
2. 営業利益増減分析 P 5
3. セグメント別業績 P 6
4. 貸借対照表 P 7
5. キャッシュ・フロー P 8
6. 参考情報	
(1) セグメント別売上高 P 9
(2) 顧客別売上構成比 P 10
(3) 業績予想 P 11
(4) 配当の状況 P 12
(5) 自己資本当期純利益率 P 13
(6) 中期業績予想 P 14
(7) 会社概要 P 15
(8) これまでの歩み P 16
(9) 新プロダクトのご紹介 P 17
(10) 新サービスのご紹介 P 18

1. 決算概要

2022年12月期 第2四半期実績（計画比較）

（単位：百万円）

	計画 (22/01-22/06)	当期 第2四半期 (22/01-22/06)	増減／計画比	
売上高	7,900	8,267	367	+4.7%
営業利益	550	639	89	+16.3%
営業利益率	7.0%	7.7%	—	—
経常利益	560	647	87	+15.7%
経常利益率	7.1%	7.8%	—	—
四半期純利益	386	445	59	+15.5%
四半期純利益率	4.9%	5.4%	—	—
1株当たり 四半期純利益	48.12円	55.56円	7.44円	—
ROE (自己資本当期純利益率)	—	7.2%	—	—

◇売上高は、ソフトウェア開発事業とサービス事業が共に好調に推移し 82億67百万円（計画比 4.7%増）と **計画を上回る結果**となりました。

◇営業利益は、増収効果に加え、各種イベントの実施延期による経費のシフト等により 6億39百万円（計画比 16.3%増）と **計画を上回る結果**となりました。

◇四半期純利益は、4億45百万円（計画比 15.5%増）と **計画を上回る結果**となりました。

1. 決算概要

2022年12月期 第2四半期実績（前期比較）

（単位：百万円）

	前年同期 (21/01-21/06)	当期 第2四半期 (22/01-22/06)	増減／増減比	
売上高	7,423	8,267	844	+11.4%
営業利益	537	639	102	+19.1%
営業利益率	7.2%	7.7%	—	—
経常利益	542	647	105	+19.3%
経常利益率	7.3%	7.8%	—	—
四半期純利益	371	445	73	+19.8%
四半期純利益率	5.0%	5.4%	—	—
1株当たり 四半期純利益	46.37円	55.56円	9.19円	—
ROE (自己資本当期純利益率)	6.6%	7.2%	—	—

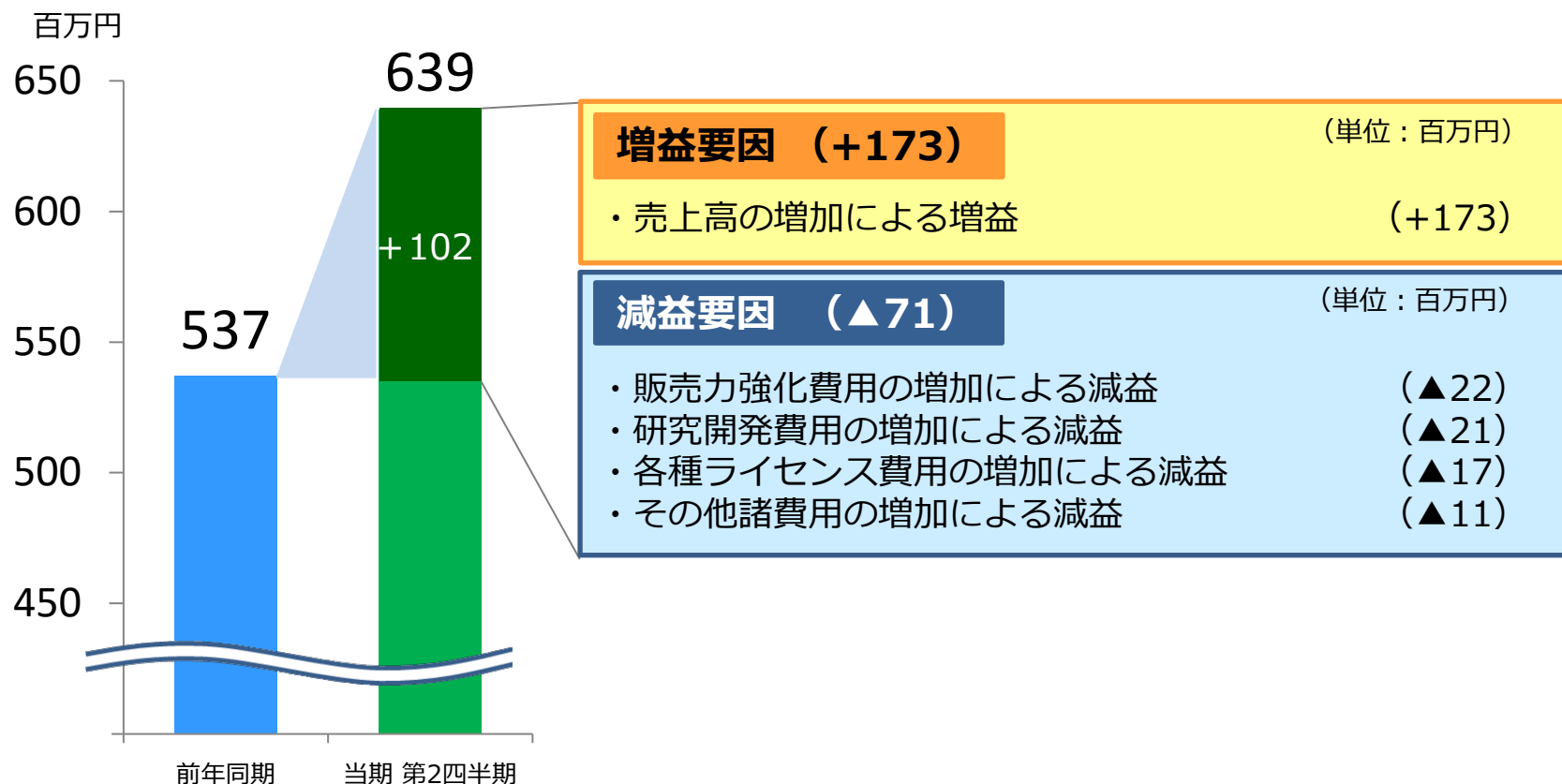
◇売上高は、主力のソフトウェア開発事業で業務ソフトウェア開発及び制御ソフトウェア開発が好調に推移したことが主因となり 82億67百万円（前年同期比 11.4%増）と **増収**になりました。

◇営業利益は、増収効果により 6億39百万円（前年同期比 19.1%増）と **増益**になりました。

◇四半期純利益は、4億45百万円（前年同期比 19.8%増）と **増益**になりました。

2. 営業利益増減分析

2022年12月期 第2四半期実績



◇営業利益の増加要因

販売力強化費用、研究開発費用、各種ライセンス費用等の増加があったものの、増収効果により前年同期に比べ増益となりました。

3. セグメント別業績

2022年12月期 第2四半期セグメント別売上高・営業利益

(単位：百万円)

	売上高				セグメント利益または損失			
	実績	構成比	前同差	前同比	実績	利益率	前同差	前同比
ソフトウェア開発事業	6,508	78.7%	665	+11.4%	1,141	17.5%	201	+21.4%
通信ソフトウェア開発	1,469	17.8%	▲91	▲5.9%	206	14.0%	▲9	▲4.4%
制御ソフトウェア開発	1,466	17.7%	218	+17.5%	264	18.0%	49	+23.2%
業務ソフトウェア開発	3,572	43.2%	538	+17.8%	670	18.8%	161	+31.6%
サービス事業	1,746	21.1%	178	+11.4%	279	16.0%	41	+17.3%
ファシリティ事業	13	0.2%	0	+0.5%	5	39.0%	0	+6.2%
本社調整 (※)	—	—	—	—	▲786	—	—	—
合計	8,267	100.0%	844	+11.4%	639	7.7%	102	+19.1%

※「セグメント利益または損失」の本社調整は、各セグメントに帰属しない全社費用であり、主に販売費及び一般管理費であります。

- ◇通信ソフトウェア開発は、通信基盤分野の開発案件減少により、売上高は前年同期比5.9%減、セグメント利益は前年同期比4.4%減と**減収・減益**になりました。
- ◇制御ソフトウェア開発は、プリンタ用ドライバ開発案件等の増加により、売上高は前年同期比17.5%増、セグメント利益は前年同期比23.2%増と**増収・増益**になりました。
- ◇業務ソフトウェア開発は、金融系システム及び公共系システム、流通系システム等の開発案件が好調に推移し、売上高は前年同期比17.8%増、セグメント利益は前年同期比31.6%増と**増収・増益**になりました。
- ◇サービス事業は、SIサービスにおいて社会インフラ及び金融系を中心とした仮想化やクラウドへの移行案件、ネットワーク構築案件が堅調に推移し、第5世代移動通信（5G）の基地局検証案件が好調に推移しました。
また、自社プロダクトの「Cyber Smart」シリーズ製品においても年間保守やクラウド使用料等の増加により堅調に推移しました。

4. 貸借対照表

貸借対照表のポイント（前期末比較）

（単位：百万円）

	前期末 2021/12	第2四半期末 2022/06	前期末差
流動資産	7,502	6,344	▲1,157
現金及び預金	912	1,795	883
受取手形及び売掛金	3,509	—	▲3,509
受取手形、売掛金及び契約資産	—	3,395	3,395
有価証券	0	1,000	1,000 ①
商品	6	12	6
仕掛品	88	78	▲9
短期貸付金	2,842	0	▲2,841 ②
その他	142	60	▲81
固定資産	3,635	3,544	▲90
有形固定資産	2,478	2,459	▲19
無形固定資産	18	14	▲3
その他	1,138	1,070	▲68
資産合計	11,137	9,888	▲1,248
流動負債	2,765	2,155	▲610
買掛金	598	656	58
未払費用	504	246	▲258
未払法人税等	430	172	▲257
賞与引当金	722	687	▲34
役員賞与引当金	28	15	▲13
その他	480	375	▲105
固定負債	2,326	1,403	▲923
退職給付引当金	2,288	1,362	▲926 ③
役員退職慰労引当金	38	41	3
負債合計	5,092	3,558	▲1,533
純資産合計	6,044	6,330	285
負債純資産合計	11,137	9,888	▲1,248

主な増減要因

- ① 合同運用指定金銭信託での資金運用開始による増加
- ② CMSでの資金運用休止による減少
- ③ 退職給付信託の設定による減少

※ CMSとはキャッシュ・マネジメント・システムの略称であり、当社では富士ソフト株式会社に余剰資金の貸付を行っておりました。

◇ご参考

	2021年12月末	2022年6月末
1株当たり純資産	753.64円	789.20円
自己資本比率	54.3%	64.0%

5. キャッシュ・フロー

キャッシュ・フローのポイント

(単位：百万円)

	前期 (21/01-21/06)	当期 (22/01-22/06)	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	527	▲769	▲1,296
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲449	1,812	2,262
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲143	▲159	▲16
現金及び現金同等物の増減額	▲66	883	949
現金及び現金同等物の期首残高	919	912	▲7
現金及び現金同等物の期末残高	853	1,795	942

◇営業活動によるキャッシュ・フロー

退職給付信託の設定額10億円等により、7億69百万円の支出（マイナス）となりました。

◇投資活動によるキャッシュ・フロー

CMS（キャッシュ・マネジメント・システム）への短期貸付金の回収額28億41百万円と有価証券の取得額10億円等により、18億12百万円の収入（プラス）となりました。

◇財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払により、1億59百万円の支出（マイナス）となりました。

6. 参考情報 (セグメント別売上高)

セグメント別売上高

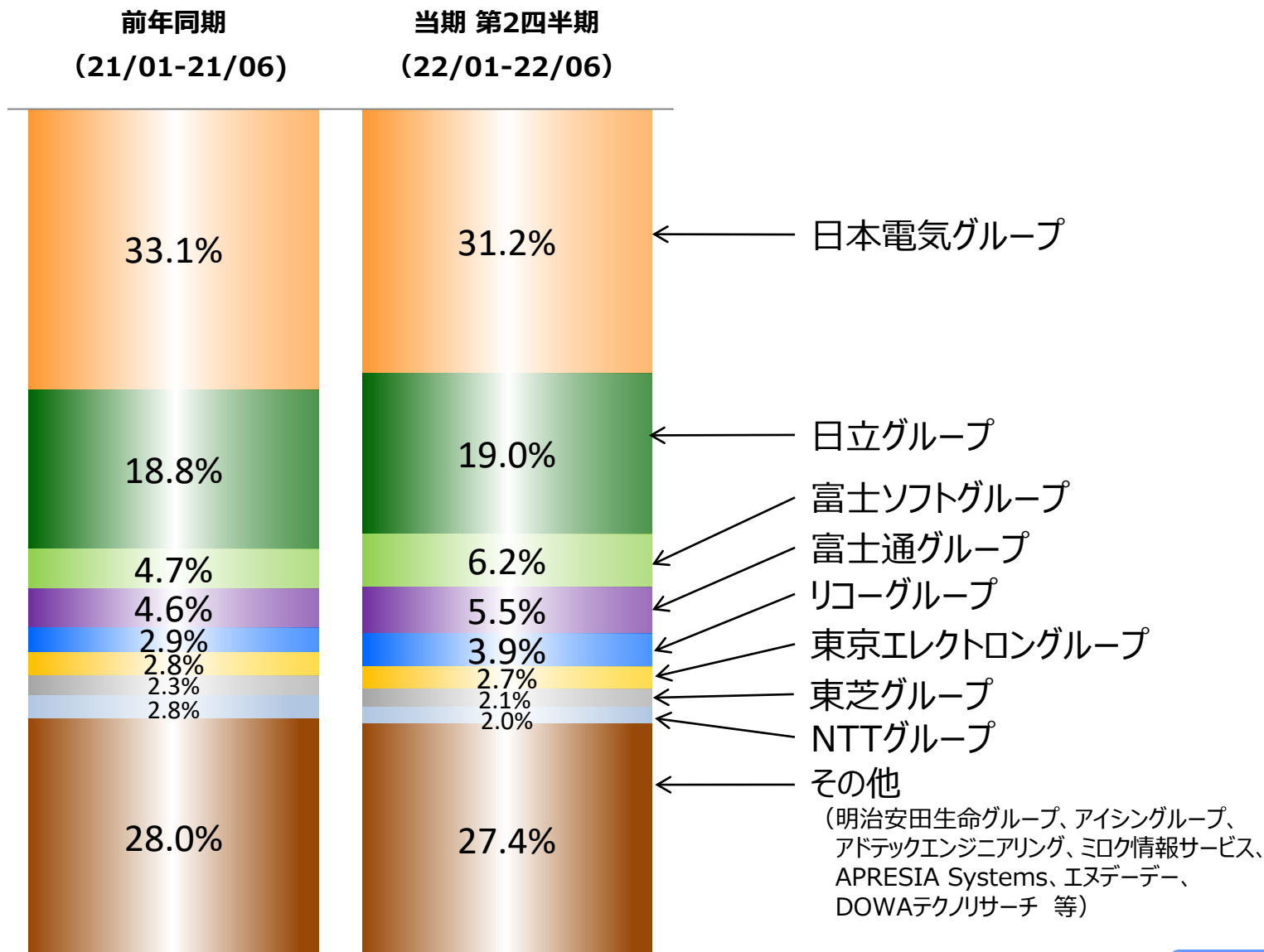
(単位：百万円)

	2021年12月期			2022年12月期			
	第2四半期 (2021年1月～6月)			第2四半期 (2022年1月～6月)			
	金額	構成比	前同比	金額	構成比	前同差	前同比
ソフトウェア開発事業	5,842	78.7%	+8.9%	6,508	78.7%	665	+11.4%
通信ソフトウェア開発	1,561	21.0%	+55.2%	1,469	17.8%	▲91	▲5.9%
通信基盤	1,318	17.8%	+95.0%	1,272	15.4%	▲46	▲3.5%
その他通信	242	3.3%	▲26.4%	197	2.4%	▲45	▲18.8%
制御ソフトウェア開発	1,247	16.8%	▲16.3%	1,466	17.7%	218	+17.5%
車載	634	8.6%	▲28.8%	698	8.5%	63	+10.1%
その他制御	613	8.3%	+2.3%	767	9.3%	154	+25.2%
業務ソフトウェア開発	3,033	40.9%	+5.7%	3,572	43.2%	538	+17.8%
金融	802	10.8%	▲6.0%	1,272	15.4%	469	+58.4%
公共	454	6.1%	+10.7%	576	7.0%	121	+26.7%
情報通信	474	6.4%	+2.6%	428	5.2%	▲46	▲9.7%
製造	478	6.5%	+36.0%	375	4.5%	▲103	▲21.7%
流通	269	3.6%	+37.5%	354	4.3%	84	+31.4%
医療	270	3.6%	▲6.6%	214	2.6%	▲56	▲20.9%
その他業務	281	3.8%	▲7.1%	351	4.2%	69	+24.9%
サービス事業	1,567	21.1%	+6.6%	1,746	21.1%	178	+11.4%
ファシリティ事業	13	0.2%	▲49.5%	13	0.2%	0	+0.5%
合計	7,423	100.0%	+8.2%	8,267	100.0%	844	+11.4%

6. 参考情報（顧客別売上構成比）

顧客別売上構成比（前年同期比較）

※敬称略



6. 参考情報（業績予想）

2022年12月期 業績予想

（単位：百万円）

	前期実績 (21/01-21/12)	業績予想 (22/01-22/12)	増減／増減比	
売上高	15,528	16,300	+771	+5.0%
営業利益	953	1,000	+46	+4.8%
営業利益率	6.1%	6.1%	—	—
経常利益	1,031	1,020	▲11	▲1.1%
経常利益率	6.6%	6.3%	—	—
当期純利益	704	700	▲4	▲0.7%
当期純利益率	4.5%	4.3%	—	—
1株当たり 当期純利益	87.86円	87.27円	▲0.59円	—

通期の業績予想につきましては、2022年2月10日発表のとおりで変更ありません。

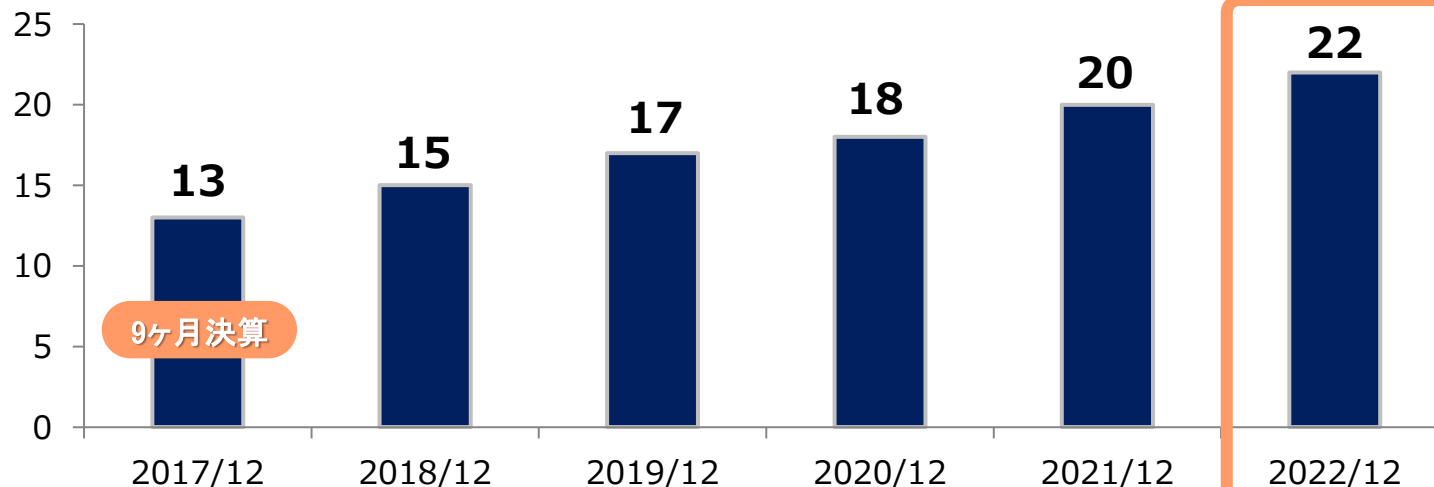
6. 参考情報（配当の状況）

配当の状況

「安定した配当」を継続して実施

増配の継続、配当性向と純資産配当率の向上

(単位：円)



	2017年12月	2018年12月	2019年12月	2020年12月	2021年12月	2022年12月
1株当たり配当金	13円	15円	17円	18円	20円	22円
配当金総額	104百万円	120百万円	136百万円	144百万円	160百万円	176百万円
配当性向	32.7%	28.8%	24.4%	26.3%	22.8%	25.2%
純資産配当率	2.5%	2.7%	2.8%	2.7%	2.8%	2.8%

予想

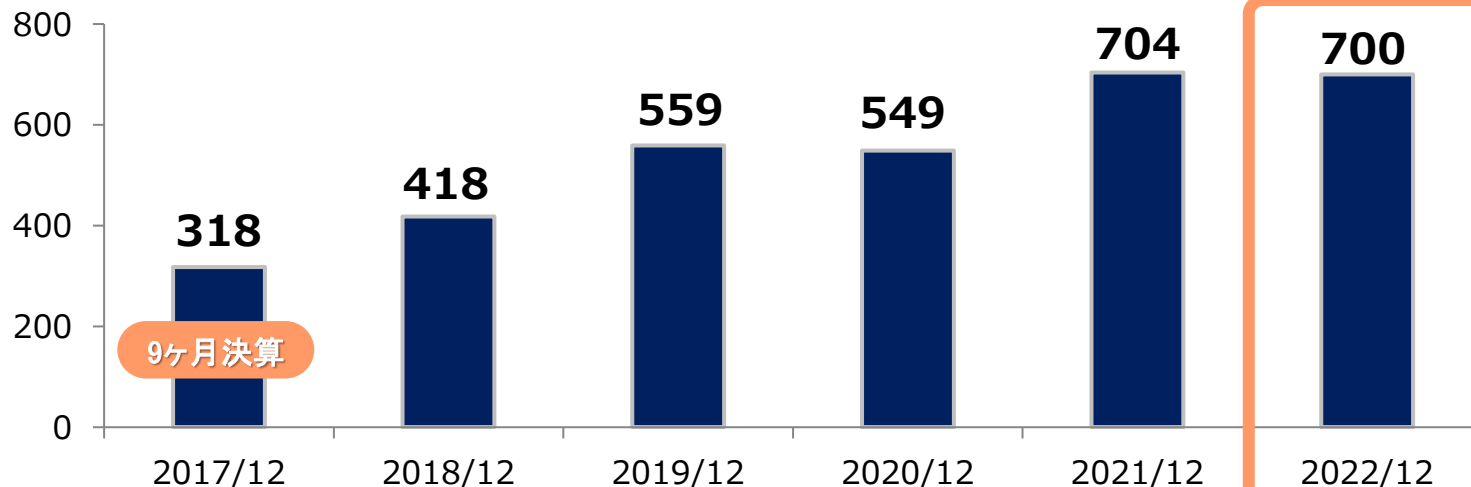
6. 参考情報（自己資本当期純利益率）

自己資本当期純利益率（ROE）

収益確保によるROE向上

本業での収益確保（営業利益計画の達成）、ROEの向上

（単位：百万円）



	2017年12月	2018年12月	2019年12月	2020年12月	2021年12月	2022年12月
営業利益	444百万円	608百万円	746百万円	827百万円	953百万円	1,000百万円
当期純利益	318百万円	418百万円	559百万円	549百万円	704百万円	700百万円
1株当たり 当期純利益	39.74円	52.16円	69.75円	68.45円	87.86円	87.27円
ROE	7.6%	9.3%	11.5%	10.4%	12.2%	11.1%

予想

6. 参考情報（中期業績予想）

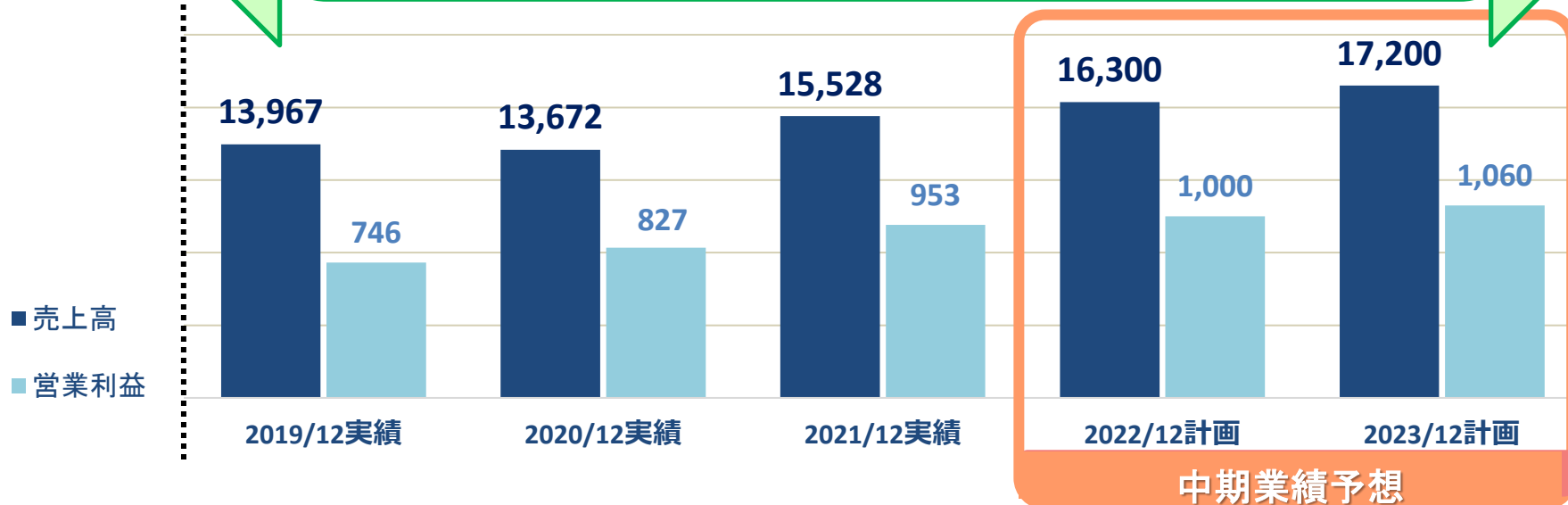
中期業績予想

※現在の中期計画（2021年～2023年）に合わせて記載しております。

（単位：百万円）

	2019年 12月期実績	2020年 12月期実績	2021年 12月期実績	2022年 12月期計画	2023年 12月期計画
	中期計画：2021年～2023年				
売上高	13,967	13,672	15,528	16,300	17,200
営業利益	746	827	953	1,000	1,060
（営業利益率）	5.3%	6.1%	6.1%	6.1%	6.2%

2019年～2023年までの
平均成長率(CAGR)予想：売上高+5.3%、営業利益+9.2%



6. 参考情報（会社概要）

会社プロフィール

名称： サイバーコム株式会社
Cyber Com CO.,Ltd.

所在地： 本店 宮城県仙台市青葉区一番町2-7-17 朝日生命仙台一番町ビル
横浜本社 神奈川県横浜市中区本町4-34

設立： 1978年12月4日

代表者： 代表取締役社長 渡辺 剛喜

資本金： 3億99百万円

社員数： 1,248名（2022年6月末現在）

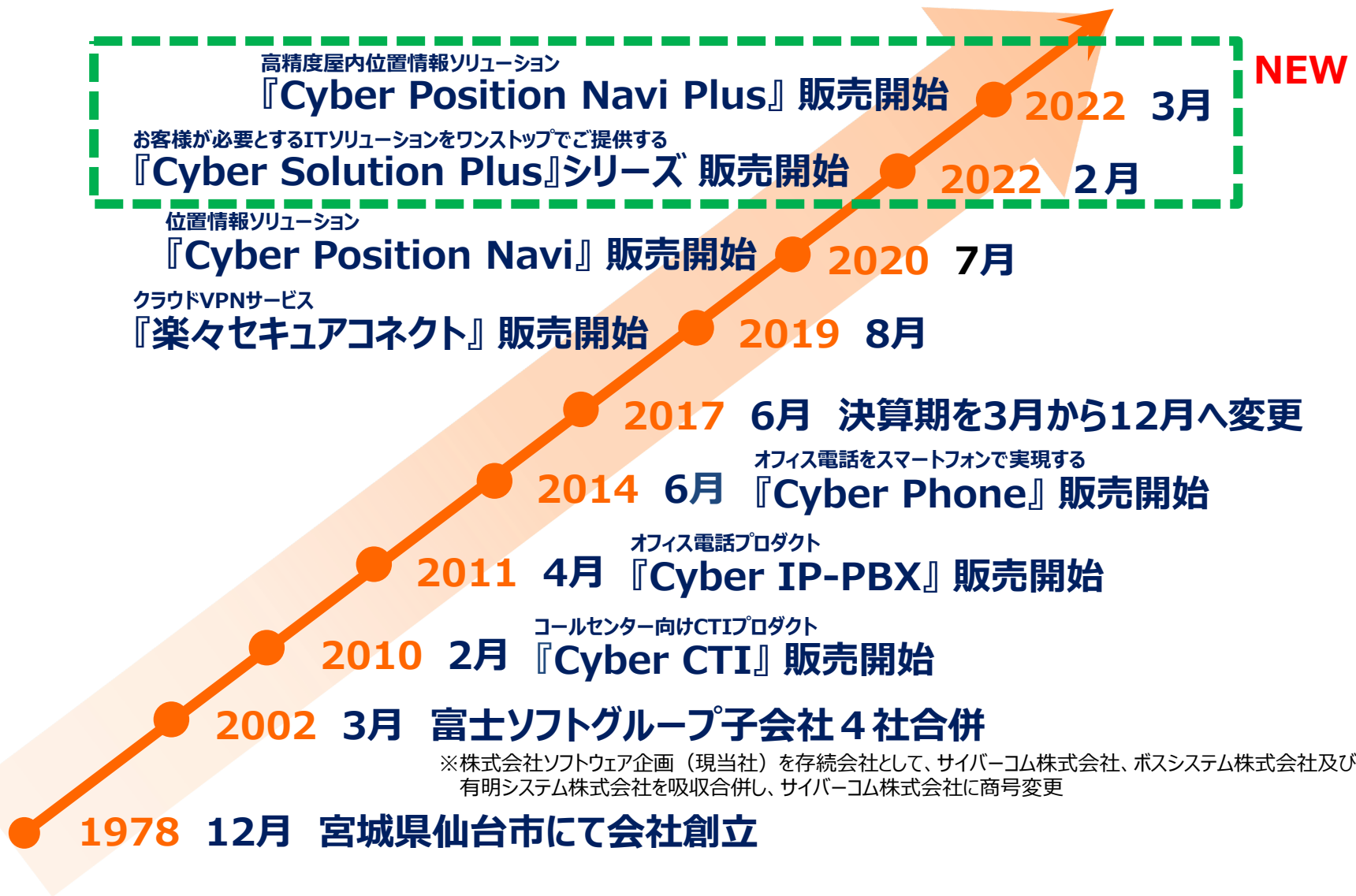
事業内容： ソフトウェア開発事業、サービス事業、ファシリティ事業

2022年12月期の主なニュース

日付	内容
2022/04/04	市場再編により東京証券取引所スタンダード市場へ移行
2022/03/24	高精度屋内位置情報ソリューション『Cyber Position Navi Plus』を販売開始
2022/03/18	第44回定時株主総会を開催
2022/02/25	2021年12月期 決算説明会の動画を配信開始
2022/02/10	2021年12月期 決算発表
2022/02/01	お客様が必要とするITソリューションをワンストップでご提供する『Cyber Solution Plus』シリーズを販売開始

6. 参考情報 (これまでの歩み)

これまでの歩み



6. 参考情報（新プロダクトのご紹介）

『Cyber Position Navi Plus』販売開始

- ✓ 誤差10cmの高精度
- ✓ 動線解析
- ✓ 様々な屋内空間に対応



＼工場・倉庫からオフィスまで！／

誤差**10cm**の高精度で
人やモノの動線を正確に把握

屋内位置情報ソリューション

Cyber Position Navi Plus
ーポジナビプラス



- 📍 小規模から大規模空間までポイントで位置がわかる
- 📄 詳細な移動軌跡から動線解析できる
- 👁️ ヒートマップで、より視覚的にわかる
- 🕒 滞在時間、移動時間がわかる

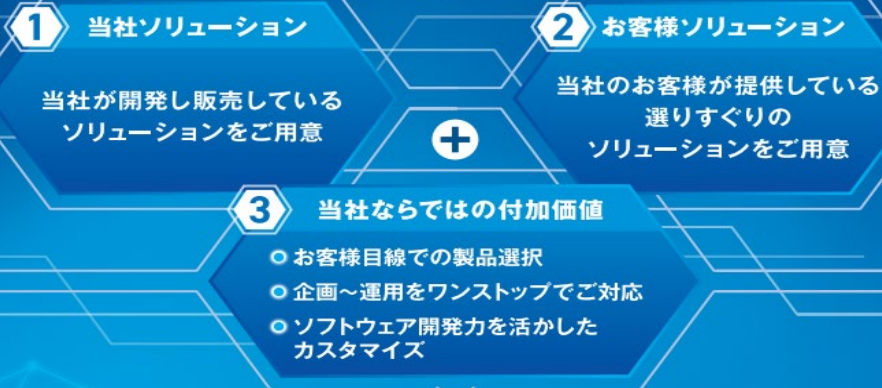
6. 参考情報（新サービスのご紹介）

『Cyber Solution Plus』シリーズ販売開始

お客様が必要とするITソリューションを
当社がワンストップでご提案します。

Cyber Solution Plus Series

Cyber Solution Plus とは



① + ② + ③

手間とコストを掛けず
ベストな「システム導入」を実現

『Cyber Solution Plus』シリーズはソリューション全体の総称です。※

Cyber Solution Plus なら
必要なITソリューションが見つかります。



※17のソリューション（サービス・製品は521アイテム）を用意し、様々な目的を持つお客様にご対応できます。

サイバーコムテクノロジーで社会に貢献する



当資料の利用に関して

当資料は、投資家の投資の参考となる情報提供を目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。また、業績予想に関する記述は、当社が当資料発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。